

日交研シリーズ A-716
平成 29 年度研究プロジェクト
「持続可能な地域経済発展のための社会基盤の研究」
刊行：2018 年 5 月

持続可能な地域経済発展のための社会基盤の研究：
観光産業と社会基盤整備の関係について

A Study of Social Infrastructures for Sustainable Regional Economic Development:
their Relationship to Tourism

主査：有村 俊秀（早稲田大学教授）

Toshi H. ARIMURA

要 旨

本プロジェクトでは、持続可能な地域経済の発展のために必要な社会基盤の在り方について、観光産業を促進するといった観点から注目して研究を行った。地域社会が自立し、持続可能な経済発展を行っていくためには、地域の特色ある観光産業を促進させていくことが今後ますます重要である。そして観光産業を活性化するためには、適切な社会基盤の整備が重要となってくる。本プロジェクトでは地域社会における観光産業と社会基盤との関係について、3つのテーマごとに研究を行った。

第1章では、離島における観光需要と社会基盤整備との関係について分析を行い、その結果についてまとめている。分析の結果、離島内における道路整備が観光客数の増加をもたらす可能性が示唆された。

第2章では、仮想評価法（CVM）を用いた富岡製糸場周辺地域における無電柱化事業の評価に関する調査結果をまとめている。本研究から観光客からの寄付金によって無電柱化事業を実施する可能性について検討している。

第3章では、地熱発電を活用したエコツアーによる地域の観光産業の発展といった観点から分析を行った。地熱発電事業による観光促進の産業連関分析を行ったところ、地域経済に一定の経済波及効果をもたらす可能性が示唆され、社会基盤整備の一定の根拠を示す内容となった。

キーワード：観光産業、地域発展、社会基盤整備、離島、仮想評価法、世界遺産、地熱発電、産業連関分析、エコツーリズム

Keywords: Tourism, Regional Development, Social Infrastructure, Island, CVM,
World Heritage Site, Geothermal Power Plant, Input-Output Analysis, Ecotourism